令和８年度　土木部
１２月補正予算案概要

令和８年１１月２５日
福島県土木部

令和８年度　土木部　１２月補正予算案概要

概　要

１　アンダーパスの冠水事故防止対策など、緊急に措置すべき経費について補正を行います。

２　初年度支出ゼロの債務負担行為の設定を行います。

予算の規模

一般会計合計	３億９，３５１万円
公共事業　計	３億７，８９９万円
一般事業他 計	１，４５２万円

※初年度支出ゼロの債務負担行為　設定
（限度額　２８１億７，７０５万円）

主な事業内容

○今年、全国で発生した冠水事故を踏まえ、国が策定したガイドラインに基づき、県管理施設の冠水事故防止対策を行います。 P.1

○冬季の気象条件等を勘案し早期着手が必要な工事等について、適正な工期確保に向け、今年度内に入札手続きを実施するため、初年度支出ゼロの債務負担行為を設定します。 P.2

今年、全国で発生した冠水事故を踏まえ、国が策定したガイドラインに基づき、県管理施設の冠水事故防止対策を行います。

事業の概要

○今後の大雨に備え、車両進入防止対策を速やかに行います。

◇道路維持補修事業（補正額5，459万円）

1）　冠水危険箇所全箇所※に、水深を側壁に分かりやすく標示した注意喚起を実施
※県が管理する冠水危険箇所（アンダー構造にて鉄道等と立体交差する箇所の内、冠水の恐れのある箇所）全24箇所

2）　冠水や車両の水没事故の発生状況、交通量等を踏まえ、県道福島飯坂線「森合（もりあい）ガード」において、水位を感知して自動的に作動する遮断機を設置



側壁標示のイメージ
（出典：国交省ガイドライン）


県道福島飯坂線「森合ガード」（福島市）



自動的に作動する遮断機のイメージ

冬季の気象条件等を勘案し早期着手が必要な工事等について、適正な工期確保に向け、今年度内に入札手続きを実施するため、初年度支出ゼロの債務負担行為を設定します。

事業の概要

○初年度支出ゼロの債務負担行為を設定します。

限度額　２８１．７億円　（昨年度設定限度額　１１７．３億円）

①県単事業	限度額	１３１．３億円	（昨年度設定限度額　１０６．９億円）
②交付金事業	限度額	５９．８億円	（昨年度設定限度額　１０．４億円）
③補助事業	限度額	９０．６億円	（昨年度設定限度額　０億円）

対象とする事業

次年度事業のうち、以下に該当する工事・測量等委託業務について、初年度支出ゼロの債務負担行為を設定します。これにより、今年度内に契約手続きを行い着手時期を早めることで、適正な工期を確保するとともに、早期完了や施工時期の平準化等を図ります。

○積雪により施工期間が限られる豪雪地域において、次年度の降雪期前に工事の完了を図るもの。
- 只見川（会津若松市）：河道掘削　等

○夏場の施工を避けるため早期完了が可能なもの。
- 国道２９４号（会津若松市湊町地内）：舗装補修工　等

○洪水期前や雑草繁茂前の完了を図るもの等。
- 河道掘削、防草工等

○測量等委託業務の実施時期の分散を図るもの。
- 構造物点検、測量設計　等



只見川（会津若松市）



国道２９４号（会津若松市）